

福祉講演会「備えよ 常に」より

9月10日(火)に福祉講演会を開催いたしました。ふれあいデイサービスとの共同開催でした。鳥取市歴史博物館やまびこ館学芸員の横山展宏氏に、81年前の鳥取大震災の状況、その際の取り組み等について、資料を通してご講演いただきました。太平洋戦下での発生だったために、広く報道されることはなかったという通説がありましたが、近隣の県の新聞社等の報道の様子もご紹介頂きました。被災者への支援を呼びかける記事もありました。ただ、未だに鳥取大震災の死者は確定しておらず、現在も調査が続いているということを伺い、過去のことでないと感じました。(講演会の参加者は24名でした。)

当時、震災後、教訓としてまとめられた一部をご紹介します。

- 情報・連絡** 電線施設の確保が必要 自家発電装置が必要
応急復旧用資材、技術員の準備
- 民心安心** 相当数の非常時用ラジオ受信機を用意
掲示板等の施設も必要
- 医療・救護** 病院、医療施設の耐震耐火建築の必要性



津波被害の多い三陸地方では「津波起きたらてんでんこだ」と伝えられてきました。これは「津波が起きたら家族と一緒にいなくても気にせず、てんでばらばらに高所に逃げ、まず自分の命を守れ」という意味です。この教訓で、東日本大震災でも助かった命が多くあります。鳥取大震災の教訓は私たちに残っているのでしょうか。

10月のふれあいデイサービス

苔玉を作りましょう

日時 10月8日(火)9:30~11:00

場所 富桑地区公民館 2F大会議室(天候によっては公民館前)

参加費 500円

*お問合せ・お申込みは富桑地区公民館へ 電話:27-4585

- ・準備の関係で先着 20名
- ・申し込みが必要

いきいきサロンのご紹介

雀のお家(おやど)

活動場所:富桑地区公民館 活動日:隔週木曜日(午後)
麻雀を楽しむサロンです。懐かしいと感じると思います。



昔取った杵柄とばかり、熱が入っていました。

ほっこりピアノ

活動場所:富桑地区公民館

活動日:隔週第1、第3水曜日

グランドピアノに向かって、自分の弾きたい曲を持ち寄って、自分のペースで弾いています。自分の都合の良い時間に取り組めるのも魅力です。ゆったりとした時間の流れが素敵でした。

